

日本設計工学会 2018 年度学生優秀発表賞および指導教員賞の受賞（令和元年 5 月 25 日）

日本設計工学会 2018 年度秋季研究発表講演会において、専攻科生産システム工学専攻修了生の妹尾真希さんが日本設計工学会優秀発表賞を、同発表に関する指導の秀逸さに対し機械工学科の大塚茂教授が指導教員賞を受賞されました。

この賞は、設計工学の分野における学術研究および教育成果の公開、発表を奨励することを目的としており、発表者である妹尾さんの「多孔質動圧ジャーナル軸受における正弦波加振時の潤滑特性に関する研究」の講演およびその指導に対して贈られました。受賞の講演は、モバイル用途や地震発生時等の加振下においても高精度を維持することが可能な軸受の開発に関する研究成果について述べられています。この技術の応用範囲は広く、モバイル情報機器だけでなく、昨今のクラウドシステムの基盤となるデータセンター用サーバの HDD 等への活用が期待されています。

今回の大塚茂教授の受賞は、昨年度の全国高専で初の日本設計工学会「論文賞」受賞に続く連続受賞となります。



贈賞式（笹島設計工学会会長（左）、大塚茂教授）